



# 12年の医療過誤、地裁で和解成立 豊橋医療センター ／愛知

暮らし・学び・医療 | 愛知

毎日新聞 | 2021/3/29 地方版 有料記事 346文字

国立病院機構豊橋医療センター（豊橋市）を受診した50代男性が死亡したのは、医師が磁気共鳴画像化装置（MRI）の検査画像で急性大動脈解離を見逃したためだとして、名古屋市中区の遺族が同機構に計約5600万円の損害賠償を求めた訴訟は26日、名古屋地裁（岩井直幸裁判長）で和解が成立した。内容は非公表。

遺族側の代理人によると、男性は2012…

この記事は有料記事です。 残り178文字（全文346文字）

ご登録から1か月間は99円

今すぐ登録して続きを読む

> 登録済の方はこちらからログイン

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.

毎日新聞デジタルは有料記事が読み放題 最初の1か月は99円（税込）

詳しくはこちら